

はぐるま

平成27年1月発行

85号

新年のあじさい





新年を迎えて

医療法人 恒貴会 理事長
協和中央病院 院長

中原 昇

明けましておめでとうございます。

大過なく、また新年を迎える事ができました。皆様はいかがでしょう。

昨年は消費増税があり、社会保障費を確保しなければ将来危うくなる事は理解しつつも、個人的にも病院にとっても痛手でした。景気は良くなっているといいますが、病院の経営にも実感はわかりません。また自然災害も忘れる事はできませんでした。昨年末の選挙で誕生した議員さんには是非とも明るい希望が見える世の中にして欲しいものです。

医療法人恒貴会も創設から36年目を迎えます。現在この地域にとってなくてはならない施設になり、これも職員の努力と地域の皆様のご協力の賜物と感謝しております。各施設がそれぞれの守備範囲を自覚して、患者様の状態に応じた医療介護のサービスを提供しております。

協和中央病院では昨年、病棟を改築して地域包括ケア病床 24 床として病室環境を整えて運営しております。地域の救急患者さんも可能な限り受け入れております。ただ医療資源や設備の都合で病院完結の医療を実施するには難しく、高度の医療が必要な場合は近隣の大きな病院に紹介しております。3月には病院機能評価の再審があります。

協和南病院は病床全てを医療型として運営するようになり、重症な患者さんも多くなり、職員の負担も大幅に増しております。努力により以前には少なかった自宅への退院も増えております。

協和ヘルシーセンターも地域の介護部門に貢献すべく、通所リハビリテーションの患者さんを大幅に増やす予定です。介護サービスを十分に受けられない方々にとって朗報となるでしょう。

在宅での患者さんには、大和クリニックの訪問往診そして愛美園の訪問看護で対応しております。特に大和クリニックは筑波大学の応援を頂き医師 4 名で 24 時間対応しておりますので安心して在宅での生活ができるよう頑張っております。

平成 27 年も地域に密着した医療を担って職員一同努力していく所存ですので、皆様方のご協力をお願い申し上げます。

地域の皆様にとって、また恒貴会の各職員にとって今年がより良き年になりますよう心から願っております。平成27年元旦



年頭所感

社会福祉法人 恒徳会
理事長

村田 桃代

明けましておめでとうございます。

近年、地球温暖化の影響か局地的な豪雨、落雷、洪水、巨大な台風、さらに昨年は御嶽山の噴火など、大きな被害をもたらす自然災害が増加しているように感じます。昨年 11 月末に起きた長野県北部の地震でも一部地域で多くの家屋が倒壊し負傷者が出ましたが、幸い犠牲者は出ませんでした。その地域では普段から災害時に備えて準備や訓練をしており、全ての一人暮らしの高齢者にペアとなる住民が決められていて非常時には必ず担当の人の様子を確認するシステムが作られていたとのこと。個々人では成すすべもない大きな出来事でも、皆で力を合わせれば立ち向かうことができるのだと思います。

昨年6月に医療介護総合推進法が成立し、今年4月にはこれを踏まえて介護保険制度や介護報酬の改定が行われます。介護予防、通所介護サービスが大きく見直され地域支援事業に組み込まれていき、介護福祉施設においても入所されるのは重症な方にシフトしていきます。障害者については昨年4月1日から自立支援法が総合支援法に移行したことで障害者の定義も変わり、現場でもより多様化した状況に対応していかなければなりません。

ダーウィンによれば生き残っているのは体力のある強い者ではなく、変化に適応していける者だとのこと。当法人、各施設とも変化に対応していけるよう努めておりますが、本年も引き続き皆様のご支援をいただければと存じます。

今年もいろいろな出来事が起こりそうですが、皆で力を合わせてよい年になりますようお祈りいたします。



明けましておめでとうございます



医療法人 恒貴会
常務理事

久野 由美子

らっしゃる方が多い中で引け目を感じつつも垣間見では、渴いた気持ちに潤いを戴き癒されております。

除夜の鐘を聴き新年を迎え、心弾ませながら「あけましておめでとう」と挨拶を交わすことが出来たのはずいぶん昔のことで、近年正月生まれの私はまた一つ歳を重ねることを有り難く思いその瞬間に感謝しながら祝っております。次々に起こる自然災等々で暗くなりがちな気持ちを、各地方のお祭りやスポーツ観戦、芸能芸術、賑やかな日本流ハロウィンも妙に新鮮に思えたり、大変ご苦勞されている

戦後 70 年「空襲警報発令!」と同時にサイレンが鳴り響き、急いで防空壕に逃げ込む恐怖の連続で、7 歳で終戦を告げられ、表現しがたい安堵感と悲惨な状況を語り継ぐには幼すぎた体験で、その記憶がようやく薄らいだ現在、日本の伝統文化を深く勉強され日本を愛して下さる外国の方々を、ドキュメンタリーなどで知り敬服し嬉しく思っております。

そう言う意味での穏やかさを噛み締めながら平和の尊さをしみじみ思っております。

年頭は末広がりの思考でなければなりません。医療と福祉支援にはより一層充実したものが求められております。職員の方々、ご協力をお願い致します。

今年がよい年でありますよう祈念致します。

協和中央病院

・脳神経外科・内科・呼吸器科・外科・消化器科・整形外科・眼科・泌尿器科・皮膚科
・小児科・麻酔科・放射線科・リハビリテーション科・歯科・歯科口腔外科・漢方内科

茨城県筑西市門井 1676 番地 1

電話 0296-57-6131 (代)

E-mail: kyowa@kokikai.com

今年も力を合わせて



協和中央病院
主席副院長
診療部長
佐藤 直毅

明けましてお目出とうございます。

日々何気なく過ぎてしまう一日も、年が改まると新たな希望に満ちた気持ちになります。

医療や介護において数々の課題を抱えながらも、この領域を仕事とする私共はともに力を合わせて、誠意を持ち真心をこめて各々の課題に取り組み前へと進んでいかなければなりません。

地域の高齢化は現実です。80歳、90歳代の手術もあたりまえのようになりました。認知症を伴う患者さんも増えています。個々の患者さんに対するきめの細かい医療や介護が必須であり、高齢者に対する尊敬の念、誠意と優しさのある対応は大切です。終末期医療においても患者さんやご家族の意向に沿った対応がより重要となるでしょう。

救急医療も病院としてより積極的に対応しなければなりません。色々な患者さんが夜間や休日に来られます。難しい症例であれば各専門科に相談していただきたい。症状が強い事例や少しでも重篤さが疑われる場合は入院していただいて様子を見ることをためらわないで下さい。皆で助け合うことが重要です。

医療安全へのたゆまない努力も続けなければいけません。ヒヤリハットや医療事故事例の集積と共有、事例の分析と対策、対策の評価、長期的な展望などを絶えず続けて行くことが肝要です。

いずれにしても、医療や介護を仕事として選択した私共に楽な道はないのです。今年も力を合わせて困難を乗り越えがむばりたいと思っています。良い年となりますよう心より願います。

中今を生きる



医療法人 恒貴会
事務局長
須藤 英夫

明けましておめでとうございます。

東の空が白々として夜が明ける現象を「東雲」(しのめ)といい、元日の夜明けを「初東雲」、更に東の空が茜色に染まってくれば「初茜」。日が昇れば「初日の出」。それらの空すべてを崇めた言葉が「初御空」(はつみそら)と言うそうです。

大晦日から一夜明けて元日の朝ともなると、普段と何ら変わることはないのに、不思議と人は清々しく穏やかな気持ちになるものです。昔はこのような心持ちを「淑氣」(しゅくき)と言い、新春のおめでたい雰囲気、心が満たされたと感じています。

四季折々の風情を愉しみ、季節ごとの旬の味覚を味わう。鎮守の森の例大祭や折々のお祭りに願いを込めながらも畏怖の念を抱いた古き時代。日本には春夏秋冬の四季をはじめ、二十四の気と七十二もの候という季節があり、旧暦をもとに暮らしていた時代には日々の移ろいを、こまやかな時の移ろう季節として肌で感じ取っていたことでしょう。

先人の暮らしの知恵に思いを馳せながら、遠い遠い過去と、これからも続くであろう未来への「時、の連なりの中の今」という「中今」(今を肯定的に捉える考え方)を今年も大切にしたいと思っています。

実り多き未年に



協和中央病院
事務部長
門馬 敏郎

初春のお慶びを申し上げます。

昨年は消費税が値上げされ、コスト上昇も並行しており油断できない状態にあります。私達は強い病院にするために自助努力を絶やさない事が大事であります。

病院の経営のなかで、理念なき経営は最低であり、利益なき経営は最悪、今使える経営資源「人・物・金・情報」を最大限に活用して、その時に出せる最大の結果を出し、経営計画に生かして参画することを全職員に意識して欲しいと思っています。

今年も、日々繁忙・多彩な一年になると思いますが、実り多き未年になるよう祈念するところです。

次世代を担う職員の育成と病院経営に精励し、地域の中核になり得るよう地域の皆様、職員の皆様には、これまで以上のご支援とご協力をお願いいたします。



協和中央病院
看護部長
入江 千恵子

新しい年に想いをよせて

おめでとうございます。

新しい年が明けて、皆様いかがお過ごしでしょうか。

当院では今年度9月より地域包括ケア病床を新設し前方連携、後方連携を推進しております。急性期医療を提供する体制の整備は勿論のこと、他医療機関との連携等、看護協会事業等を通じて強めていきたいと考えております。

忙しい業務の中、油断すると目的を忘れ時間の流れの中に身を置きがちですが、看護部に求められるものを見極めながら業務を推進して参ります。

療養病床
協和南病院

茨城県筑西市門井 1674 番地 1
電話 0296-57-5133 (代)
E-mail: minami@kokikai.com

より良い地域医療創生を目指して



協和南病院
院長

小笠原 正彦

明けておめでとうございます。
現在の医療制度は、1961年に国民皆保険制度が施行され、爾来約半世紀にわたって維持されてきた我国の医療提供体制は、急速に進む少子高齢化の現代にあつて、様々な改革が求められてきております。特に高齢者の医療と介護の需要が急増する中、地域へ各種権限委譲など新たな体制下での地方創生の枠組み造りが望まれ、中央集権だけでは支えきれない各地方自治独自の役割の検討が早急に課せられています。

当医療法人も「相手の立場に立つ」という基本理念を目標に、長年地域医療に携わり、協和南病院では平成 26 年 10 月 1 日付で在宅復帰機能強化加算を取得し、医療必要度の高い患者を中心に転院受け入れを行ってきました。しかしながら一方で、医療改革に伴う多くの問題が累積しております。

今後の地域医療創生には、常に職員及び国民視点での議論が

必要と思われまふ。即ち地域の誇りある文化、社会、歴史を背景に豊富な職種の内在する職員の方々の叡智を埋没させない発掘が急務であり、巷間伝え聞く将来の道州制議論や、過去の廃藩置県改革なども視野に、伝統に根差した地域の活性化とより良い医療の地方創生を目指して、新しい社会の将来に立ち向かってゆきたいものです。



介護老人保健施設

協和ヘルシーセンター

茨城県筑西市門井 1669 番地 2
電話 0296-57-6030 (代)
E-mail: healthy@kokikai.com

在宅サービス強化



協和ヘルシーセンター
施設長

長山 辰治

明けておめでとうございます。
今年の医療法人恒貴会の益々のご発展を心より祈願しています。
協和中央病院・協和南病院も厚生労働省の、官僚による医療費削減および受診抑制等の政策により患者さんの減少で、運営も厳しさを増しております。
介護老人保健施設協和ヘルシーセンターでは、医療法人恒貴会の在宅サービス向上強化のため、通所リハビリテーションを現在の 60 名定員を、さらに増員して 100 名の通所リハビリテーションに拡大する計画です。医療保険で打ち切られた患者さんが、介護保険へのリハビリテーション継続の受け皿になるべく、協和中央病院だけでなく、筑西市民病院、県西総合病院及び近隣のクリニックの患者さんの強い要望と利用申し込み殺到に応えたいと考えます。

理学・作業療法士及び言語聴覚士の資質向上を図り、地域の在宅サービスに貢献すると共に、職員の処遇向上に繋げたいと思ひます。



大和クリニック

茨城県桜川市大国玉 2513 番地 12
電話 0296-58-7788 (代)
E-mail:yamato@kokikai.com

地域を愛し、そして地域に愛されるクリニック



大和クリニック
院長
木村 洋輔

新年おめでとうございます。新春を迎え、お健やかな日々をお過ごしのこととお喜び申し上げます。地域スタッフの皆様からサポートを受け、私が大和クリニックに赴任して2度目の新年を迎えることができました。こころより御礼申し上げます。

大和クリニックでは、通院が難しい患者さんの自宅に出向いて診察をする訪問診療をしています。昨年末には医師・看護師・事務スタッフ全員で、大和クリニックが今まで大切にしてきたこと、これからも大切にしたいことを話し合いました。患者さんへの思いやり、温かさを大切にして、ひとりひとりとじっくりと向き合っていくこと、患者さんだけでなく家族の不安などにも心配りをしながら家族も丸ごとみること、そして地域がクリニックに求めている役割を果たすことなどがスタッフからあがり、手前味噌になりますが意識の高さにうれしく思いました。患者さん、ご家族、そして

院内のスタッフや地域のスタッフなど、ひとりひとりを大切にして、「地域を愛し、そして地域に愛されるクリニック」を目標に、お互いのコミュニケーションを大切にする「地域と愛をはぐくもう」という今年のスローガンが生まれました。今年は、この合い言葉のもとで、誰もが望む場所で過ごせるよう、これまで以上に地域の安心に貢献していきたいと思っております。本年もよろしくお願ひ申し上げます。



訪問看護ステーション 愛美園

茨城県桜川市大国玉 2513 番地 12
電話 0296-20-6780 (代)
E-mail:aibien@kokikai.com

在宅は命の強さあふれてる！ 訪問看護もお手伝い



訪問看護ステーション
愛美園 所長
中島 由美子

明けましておめでとうございます。皆様穏やかに新年をお過ごしのことと思います。訪問看護ステーション愛美園は、昨年4月から機能強化型訪問看護Iを取得しました。これは、看護職員数を多く配置した上で、24時間対応・休日も訪問看護の提供を行う、重症な方にも訪問している、訪問地域での在宅看取りを積極的に行っているなどの訪問看護ステーションが算定することができます。茨城県内では、

愛美園を含めて4カ所の訪問看護ステーションが評価されました。私たちは、家で看護の素晴らしさに魅せられて、実直に看護の提供を行ってまいりましたが、昨年はこのように国から評価して頂き身の引き締まる思いがいたしました。今年のスローガンを「在宅は命の強さあふれてる！ 訪問看護もお手伝い」としました。家というのは本当に不思議な場です。皆さん、好きなように生活されております。歩くのが難しければ這ってトイレ

へ行ったり、一人暮らしが困難と言われたおじいさんも奥様の遺影に見守られて何とか暮らせます。これは、毎日の暮らしを自分で考えて決められる、自由があるということです。そこには、入院中は感じられなかった力強さがあります。私たちは、患者さんの本来の力を発揮できるように、お手伝いして行けたらと願っております。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。



障害者支援施設
すみれ園

茨城県筑西市門井 1677 番地 21
電話 0296-57-5125 (代)
E-mail:sumireen@kohtokukai.jp

安心・安全は信頼から



すみれ園
施設長
瀬端 毅

新年を迎え謹んでお祝いを申し上げます。

羊に因んだ故事成語に「羊質虎皮」という言葉があります。実際は羊なのに、虎の皮をかぶっていることを例え、外見は立派だが実質が伴っていないことの意味になります。すみれ園は、障害を抱えた方々が、日々、安心した生活が送れるよう日常生活

に支障がある部分を支援する施設です。安心・安全は、支援を受ける側が、提供する側への信頼があって成り立つものだと思います。その信頼を得るためにも、「羊質虎皮」にならないよう、ご利用者様の意向を最大限にくみ取り、職員一人ひとりが誠心誠意丁寧な支援を心がけます。

本年もよろしくお願ひいたします。



更なるリラックス効果を目指して

すみれ園は、ご利用者様が希望と生き甲斐を持てるよう日中活動に力を入れております。その中の一つスヌーズレンは、人の4感（視覚・聴覚・触覚・嗅覚）へ刺激を与えることで、リラックス効果が得られると言われています。これまで、色々な光やアロマ・クッション等々を活用してきましたが、更なる効果を得られるよう、アロマテラピーアドバイザーによるアロマオイルマッサージを取り入れました。参加されている方々から「気持ちが良い」「リラックスできる」と言った声をいただき、好評を得ております。



障害者支援施設

堇 授 園

茨城県筑西市門井 1687 番地 1
電話 0296-57-3400 (代)
E-mail:kinjyuen@kohtokukai.jp

今年もよろしくお願ひいたします



堇授園
施設長
大泊 幸三

明けましておめでとうございます。

消費税増税（8%→10%）が延期となり、アベノミクスの効果が地方、中小企業にまで廻ってきた感じがないところで当然と思うところ、一方では増税を見越しての社会保障の充実、財政再建を考えるとどちらがよかったのか判断が難しいところです。

平成 27 年度は介護報酬・障害福祉サービス費の改定がありますが、いずれも厳しい改定が予想されます。しかし、利用者に対するサービスは今まで同様確保しつつ更なる向上を目指さなければなりません。今年も就労支援施設として利用者の就労(作業)を中心にして支援をしております。

今年もよろしくお願ひいたします。

念願の・・・(第 2 3 回茨城県身体障害者 トリムバレー大会)

—昨年台風による中止からはや 2 年ぶりの大会が去る 10 月 15 日水曜日に茨城県立医療大学体育館で行われました。

昨年は総当たりのリーグ戦となりました。試合が進み 5 施設中 3 施設が 3 勝 1 敗と拮抗し、得失点の差で第 1 2 回以来 2 度目の優勝を果たす事が出来ました。永年に渡り悔しい思いをしてきたため、「優勝は・・・堇授園です。」と言われた時の喜びはみなさん忘れる事の出来ない思い出となりました。



障害者支援施設
桃 香 園

茨城県桜川市大国玉 2513 番地 10
電話 0296-58-7870 (代)
E-mail: tohkaen@kohtokukai.jp

心の豊かさとしきがい



桃香園
施設長
杉田 直樹

新年を迎え謹んでお祝いを申し上げます。

日々の生活を心豊かに送るためには「生きがい」を持つことが必要だと言われ、その生きがいとは「感動すること、感謝されること」だと言われております。

施設で過ごされるご利用者の方々に、本物に触れたり、見たりする機会をなるべく多く持っていただけるよう努力するとともに、感動づくりの応援をさせていただきたいと思いま

す。そして、感動の先に生まれる感謝の笑顔が私たちスタッフ全員の明日への活力につながるよう、また、支え合う気持ちを忘れることのないよう日々の支援に取り組んでいきたいと考えております。

これからも安心して安全な支援が提供できるよう業務の改善と安全対策の見直しを進め、信頼される施設でありたいと思います。



希望と生きがいの持てる桃香園を

桃香園では、ご利用者様に桃香園での生活を楽しんでいただけるように、年間を通して沢山の行事を開催しております。春は観桜会にはじまり、夏には納涼祭、バーベキューやクリスマス会、年末の餅つき会など、他にも年間を通して桃香園での生活を楽しんでいただける行事を考え開催しております。

2年前からは、近年日本でもメジャーなイベントになってきたハロウィンを開催しております。利用者の方々と職員が仮装をして施設内を歩いたり、5月から畑でハロウィン用のカボチャの栽培を行うなど、仮装での記念撮影を楽しむ方々、カボチャの成長を楽しみにしている方など、利用者の方々と職員が一緒になって楽しんでいる行事です。

利用者の方々の笑顔が少しでも多くみられるように、今後もたくさんの行事を企画していきたいと思ひます。



新型特別養護老人ホーム

恒 幸 園

茨城県筑西市向川澄 98 番地 1
電話 0296-57-7268 (代)
E-mail: koukouen@kohtokukai.jp

幸せな介護



恒幸園
施設長
海老原 隆行

老いて、病んだ時、その人を幸せにする介護とは、どういうことなのでしょう？

—— ところが苦しんでいる時、
悲しんでいる時
一緒に悩み考え
そっと手を握り 傍にいて
どんな時も 笑顔を決やさない
いつのときも
他人を思いやれる人間でありたい
お年寄りの方々と
人、として出会うことが
すべてのはじまりである——



本気のありがたいの言葉に、勇気づけられ、自分がされていやなことは、絶対、人にはしないという介護の原点回帰をし、プラス思考を身につけていく年度としたい。

単なる「お世話型介護」から、できることを増やしていく「自立型介護」を通して、ひとりひとりの人生に幸せな介護を届けていきたいと考えております。

笑う門には“福”来たる

今回はデイサービス・ヘルパーのご利用者様・職員合同で、折り紙のミニだるまを作り、それぞれご利用者様に顔を入れていただいて「福」という文字を完成させました。

どのだるまを見ても、それぞれ顔の表情が違い「これは〇〇さんのヒゲだよな!」「△□さんのまゆげだっぺ!」などと濃くしながら、笑い泣きしつつ作品を完成させることが出来ました。



外来診療担当医表 平成27年1月

診療科		月	火	水	木	金	土	
脳外科	午前	1	中原	中原	中原	中原	中原	
		2	五味	長	黒川	横田	長	
●脳外科は予約外来となっております。予約外の患者様はしばらくお待ちいただくことがありますのでご了承ください。								
外科 消化器外科・肛門科 血管外科	午前	1	佐藤	佐藤	佐藤	佐藤	石川	
		2	高坂	石川	高坂	降旗	石川	
		3	石川	降旗				
内科	午前	1	玉野 一般内科	玉野 一般内科	小島 消化器・一般内科	川越 一般内科	玉野 一般内科	長山 一般内科
		2	川越 一般内科	小島 消化器・一般内科	木村 一般内科	荻野 循環器・一般内科	磯田 血管内科・一般内科	小島 消化器・一般内科
		3	福島 一般内科	磯田 血管内科・一般内科	阿部田 一般内科	福島 一般内科	岡野 内分泌内科	(予約)新保 循環器内科
		5	福田 循環器・一般内科	北川 循環器・一般内科	内海 一般内科 糖尿病外来	阿治部 消化器・一般内科	小林 神経内科	
	午後 (予約のみ)	1	阿治部 消化器・一般内科	北川 循環器・一般内科		竹森 一般内科	川越 一般内科	
		2	市田 循環器内科			磯田 血管内科・一般内科	小笠原 神経内科	
	●内科は予約外来となっております。予約外の患者様はしばらくお待ちいただくことがあります。●午後は予約のみとさせていただきますのでご了承ください。							
	東洋医学センター (漢方外来)	午後		加藤				
●漢方外来は、初診の患者様の人数制限をさせていただいております。詳しくは受付にお問い合わせください。								
睡眠呼吸障害	午後(予約のみ)	村田						
●睡眠呼吸障害外来は、初診の患者様は受付しておりませんので、ご了承ください。								
頭痛専門外来	午後				菱田 神経内科			
小児科	午前	栗林	長尾	長尾	佐藤	黒澤	自治医大	
	午後	栗林	長尾		佐藤	黒澤		
整形外科	午前	藤田(予約・紹介のみ)	村山		藤田(予約・紹介のみ)	木村	第1、第3当番制	
●月・木・第3土の整形外科は、予約と紹介患者様のみとさせていただきます。								
痛みの外来	午前			佐藤				
皮膚科	午前・午後		西川			小池		
泌尿器科	午前	蔵	別納	蔵	蔵	蔵	別納	
●泌尿器科は予約外来となっております。予約外の患者様はしばらくお待ちいただくことがありますのでご了承ください。●土の受付は10:30までとさせていただきます。								
眼科	午前・午後		高山	高山(午前のみ)	山下・武村(交代制)	高山(午後は予約のみ)		
歯科 歯科口腔外科	午前・午後 (土は午前のみ)	1	串田	串田	串田	串田	野口	
		2	仙名	仙名	鹿志村	仙名	仙名	

※受付時間《午前の部》月・火・木・金(7:30~11:30) 診療開始 9:00
水・土(7:30~11:00) 診療開始 9:00
歯科・歯科口腔外科(8:30~11:00) 診療開始 9:00
※水・土の午後及び日・祭日は、休診です。

《午後の部》皮膚科・眼科(13:30~15:30) 診療開始 14:00
内科(13:30~16:30) 診療開始 14:00
小児科(14:30~16:30) 診療開始 15:00
歯科・歯科口腔外科(13:30~16:00) 診療開始 14:00 水の午後も診療します。

医療法人 恒貴会の基本理念

『相手の立場に立つ』

協和中央病院の理念

『患者様の立場に立った医療の提供に努めます。』

協和中央病院の基本方針

1. 患者様の人権と意思を尊重し、説明と同意に基づいた医療を提供します。
2. 安全で良質な医療を提供するため、日々研鑽します。
3. 地域の急性期医療に貢献する病院をめざします。
4. 地域の要望に応えられる医療を提供します。
5. 健全経営を目指します。

患者様の権利

私たちは安心して医療を受けていただくために、説明と同意に基づく良質な医療の提供に努めます。
病院任せではなく、患者様ご自身にも医療に参加していただきます。

患者様に対して次のことを心がけて接します。
患者様は、

1. 人間としての尊厳を守られる。
2. 良質な医療を受けられる。
3. 病院や診療内容を自由に選ぶことができる。
4. 自分の意志で治療方針を決めることができる。
そのために判断するのに必要な医学的知識を提供される。
5. 自分の診療内容を知ることができる。
6. 必要なら他の医師の意見も聞ける。
7. 自分の個人情報を守られる。

編集後記

新年を迎え新しい1年がスタートしました。
2015年、皆様にとりまして良い1年になりますようお願いいたします。

今年も広報誌「はぐるま」は、現場の声としてお役に立てる病院情報をお伝えしていけるよう編集委員一同頑張っておりますので、宜しくお願いいたします。

全国各地で、インフルエンザや感染性胃腸炎が流行ってきております。また、寒さもまだまだ続きます。皆様お身体に気をつけましょう。(杉田)

※写真等の個人情報は、ご本人の同意を得て、掲載させていただいております。

●発行責任者／中原昇
●編集委員／飯泉茂徳 上野敏子 堤谷博之 延島喜恵子 杉田恵美子 野村正浩 高松紀平 北野祐美／飯田信宏 渡辺昌彦

〒309-1195 茨城県筑西市門井1676番地1 TEL.0296-57-6131

<http://www.kokikai.com>

